



奥出雲町立  
横田中学校

# 大樹

令和7年度学校教育スローガン

自分軸で進む！ 未来を創る！

第306号 令和7年11月18日  
文責：校長 山根 齊浩

## ◇11月（霜月）～秋の深まりを感じながら～◇

11月に入りました。校舎から見える景色に赤・黄・オレンジなどの鮮やかな色が増え、生徒たちの服装も秋冬の装いになってきました。3年生は進路決定をする時が近づいてきました。生徒たちの頑張りを応援したいと思います。感染症を予防しながら全員元気に過ごしたいと思います。



## ◇「体育祭」で完全燃焼！ ◇

10月23日（木）に令和7年度の体育祭を開催しました。絶好の秋晴れのもとで、生徒たちは赤組・青組ごとに団結して、練習の成果を十分に發揮し完全燃焼しました。当日はたくさんのご来賓や保護者の方々にお越しいただき、競技に燃える姿や係活動に取り組む姿、仲間を熱く応援する姿など色々な姿をご覧いただきました。特に3年生は体育祭にかける思いのこもった素敵な表情を随所で見せてくれました。生徒たちの躍動する姿をご覧ください。



## ◇「山陰フィルコンサート」に参加しました! ◇

今年は、奥出雲町合併20周年を迎えました。これを記念して「山陰フィルハーモニーコンサート」が、10月19日（日）に奥出雲町立町民体育館で開催されました。このコンサートに、奥出雲町の小学生（5・6年生）と中学生（全学年）が参加し、一般のお客様と一緒に、オーケストラの演奏を間近で鑑賞しました。演奏会の中で児童生徒が「BELIEVE」という曲をオーケストラの伴奏で一緒に歌ったり、指揮者体験をさせていただいたり、仁多乃炎太鼓の皆さんによる和太鼓の演奏があつたりしました。演奏会は大変盛り上がり、思い出に残る演奏会になりました。



## ◇「PTA研修会」で高齢者体験をしました◇

11月11日（火）に、PTA研修会を開催しました。今年は、奥出雲町社会福祉協議会のご協力をいただき、「高齢者体験」を実施しました。はじめに奥出雲町の高齢化の状況や、社会福祉協議会の活動の様子などを説明していただいた後、生徒と先生方、保護者の皆さんと一緒に、車椅子体験や、拘束用具を着用した状態での軽スポーツ体験を行いました。拘束道具には、視野が狭くなり風景が霞んでしまうゴーグルや、手足が動かしにくくなるソーター、音が聞こえにくくなるヘッドフォン、腰が曲がり杖をつきながら前屈みで歩くようになるバンドなどが用意されていて、中学生でも高齢者になったような体験ができました。体験をした人たちには、新たな気づきがあったようです。生徒の感想を少し紹介します。



- 研修会で高齢者体験をしてみて、高齢になるにつれて自分でできることが減っていくことを実感することができた。少子高齢化が進む中、若い世代が高齢者を支えることの大切さが分かった。今日学んだことをこれから的生活に活かして行きたい。
- 高齢者体験をしてみて、改めて高齢者の方は色々大変だと実感した。私は腰を曲げて、視線を落とす体験が一番きつかった。この経験から祖父母や地域の高齢者の方などが困っていたら、見て見ぬふりをせず、勇気を出してサポートをしたいと思った。

生徒が、高齢者の方々への接し方や自分の将来、町の将来のことなどについて考える良い機会になったようです。研修会にご協力いただいた皆様に厚くお礼申しあげます。

## ◇新生徒会役員選挙を実施しました◇

11月10日に、令和7年度「生徒会役員選挙」の「立会演説会・投票」を実施しました。次期生徒会長候補の三宅さんと副会長候補の浅沼さんが最終演説を行いました。その後投票に移り各自が投票箱に一票を投じました。まもなく生徒会役員が決まり、横田中の生徒会が、3年生から2年生に引き継がれます。

